

平成 26 年度

大阪市「全国学力・学習状況調査」

の結果について

平成 26 年 10 月

大阪市教育委員会

はじめに

「全国学力・学習状況調査」は、国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的に、平成 19 年度より実施しています。

大阪府教育委員会では、保護者や市民の皆様説明責任を果たすとともに、教育により関心をお持ちいただくため、本調査の内容が、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校が総体となって取り組むべき課題であると捉え、平成 20 年度より調査結果と学力向上戦略を併せて公表してまいりました。

また、平成 25 年度からは、大阪府立学校活性化条例や大阪府教育振興基本計画の趣旨に基づき、大阪府教育委員会の責任において、各校長が、「全国学力・学習状況調査」の自校における平均正答率を含む調査結果及び調査結果の分析から明らかになった現状や、自校の取組の成果、今後取り組むべき課題等を公表しています。

児童生徒の学力向上には、学校はもとより、保護者、地域（市民）の方々に本市の子どもたちの現状を理解していただき、学校・家庭・地域が連携して取り組むことが重要です。今年度は、調査の結果を基に、小中学校の教科別（国語、算数・数学）や質問紙調査ごとに、「児童生徒のがんばり」と「努力が必要な点」「学校や家庭での取組のポイント」「効果があった取組例」等としてまとめて公表いたします。

また、大阪府教育振興基本計画に基づいた、「学力向上に向けた大阪府の取組」の概要も示しております。

大阪府教育委員会といたしましては、これらの分析結果をもとに、本市の児童生徒の学力向上に向け、より一層取組を進めてまいります。

（参考）

実施年度	全 国	大 阪 市	備 考
平成 19 年度～平成 21 年度	しゅうかいちようさ 悉皆調査 1	悉皆調査（全小中学校が参加）	
平成 22 年度	抽出調査 2	抽出調査 + 希望利用方式 3（全小中学校が参加）	
平成 23 年度	実施なし	希望利用方式（全小中学校が参加）	
平成 24 年度	抽出調査	抽出調査 + 希望利用方式（全小中学校が参加）	・理科に関する調査
平成 25 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	・経年変化分析調査 ・保護者に対する調査 ・教育委員会に対する調査
平成 26 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	

1：全国の小中学校をまれなく調査する方法

2：全小中学校のうち、一定の割合の学校を対象として調査する方法

3：学校長の希望により、調査を利用することができる方法

目 次

調査の概要	1	
・ 教科に関する調査結果の概要	・ 平均正答率 全国との経年比較	
・ 平均無解答率 全国との経年比較	・ 正答数分布	
・ 大阪市の平均正答率・平均正答数・平均無解答率		
教科に関する調査結果	4	
・ 小学校国語	・ 小学校算数	
・ 中学校国語	・ 中学校数学	
質問紙調査の結果	20	
・ 学びの充実に向けて	・ 基本的な生活習慣	・ 家庭学習
・ 自尊感情・規範意識	・ 学校・家庭・地域の連携	・ 学校組織の改善
学力向上に向けた大阪市の取組	34	
・ 言語力や論理的思考能力の育成	・ 習熟度別少人数授業の実施	
・ ICTを活用した教育の推進	・ 学習教材データ配信	
・ 放課後ステップアップ事業	・ 学校元気アップ地域本部事業	
・ 小中一貫した教育	・ 幼稚園・保育所・小学校の連携	
・ 学校図書館活性化事業	・ 英語イノベーション事業	
・ 理科教育の充実	・ 学び続ける教員サポート事業	
・ 学校キャラバン隊		

大阪市教育委員会事務局	学力向上グループ	06 - 6208 - 9039
	教育センター	06 - 6572 - 0667
	初等教育担当	06 - 6208 - 9176
	中学校教育担当	06 - 6208 - 9199

調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、大阪市教育振興基本計画に基づく教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年の全児童

中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全生徒

3 調査内容

教科に関する調査（国語、算数・数学）

・主として「知識」に関する問題（A問題）

・主として「活用」に関する問題（B問題）

質問紙調査

・児童生徒に対する調査

・学校に対する調査

4 調査方式 悉皆調査

5 調査日時 平成26年4月22日(火)

6 調査を実施した学校・児童生徒数

・小学校（特別支援学校含）300校、18,666人

・中学校（特別支援学校含）133校、17,623人

教科に関する調査結果の概要

平均正答率は、A・B問題において全国との差は依然としてあるものの、平成25年度と比べ、小中学校ともに、国語において、縮小傾向にある。

平均無解答率は、小学校でほぼ全国平均に近づいた状況である。また、中学校においても、概ね改善傾向にある。

小学校については、平成25年度と比べ、国語においては改善傾向にある。算数においては、A・B問題ともに、全国との差が若干広がっている。

中学校については、平成25年度と比べ、国語においては改善傾向にある。数学においては、全国との差は依然としてあるものの、B問題に改善傾向がみられる。

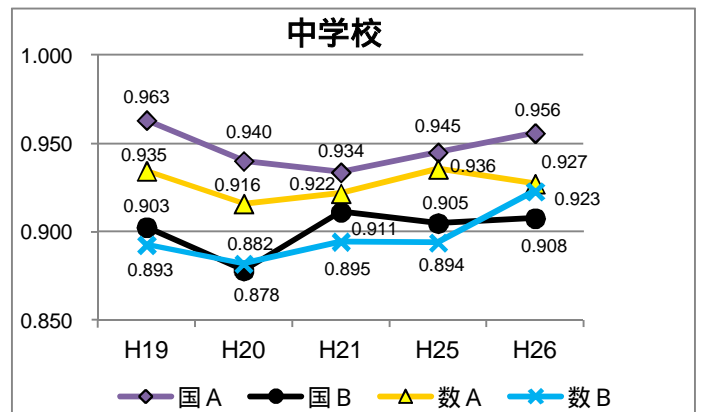
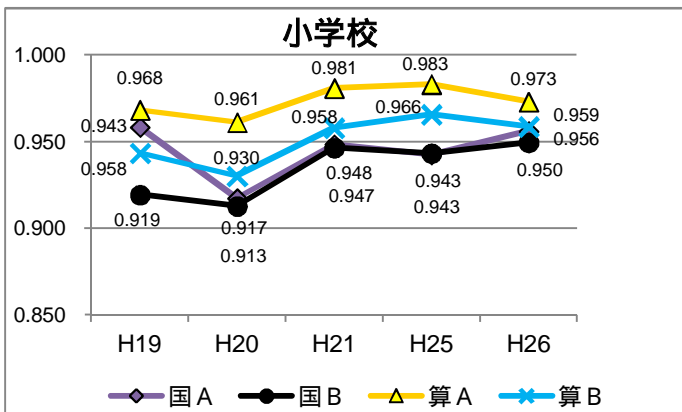
平均正答率 全国との経年比較

平成 23 年度は、東日本大震災の影響により、全国調査は見送られた。
 悉皆調査の平成 19,20,21,25,26 年度を取り上げています。

		H19			H20			H21			H25			H26		
		大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差
小国	A問題	78.3	81.7	-3.4	60.0	65.4	-5.4	66.3	69.9	-3.6	59.1	62.7	-3.6	69.7	72.9	-3.2
	B問題	57.0	62.0	-5.0	46.1	50.5	-4.4	47.8	50.5	-2.7	46.6	49.4	-2.8	52.7	55.5	-2.8
小算	A問題	79.5	82.1	-2.6	69.4	72.2	-2.8	77.2	78.7	-1.5	75.9	77.2	-1.3	76.0	78.1	-2.1
	B問題	60.0	63.6	-3.6	48.0	51.6	-3.6	52.5	54.8	-2.3	56.4	58.4	-2.0	55.8	58.2	-2.4
中国	A問題	78.6	81.6	-3.0	69.2	73.6	-4.4	71.9	77.0	-5.1	72.2	76.4	-4.2	75.9	79.4	-3.5
	B問題	65.0	72.0	-7.0	53.4	60.8	-7.4	67.9	74.5	-6.6	61.0	67.4	-6.4	46.3	51.0	-4.7
中数	A問題	67.2	71.9	-4.7	57.8	63.1	-5.3	57.8	62.7	-4.9	59.6	63.7	-4.1	62.5	67.4	-4.9
	B問題	54.1	60.6	-6.5	43.4	49.2	-5.8	50.9	56.9	-6.0	37.1	41.5	-4.4	55.2	59.8	-4.6

平均正答率 対全国比の経年比較

グラフは、全国平均正答率を1としたときの大阪市の割合を表したものです。

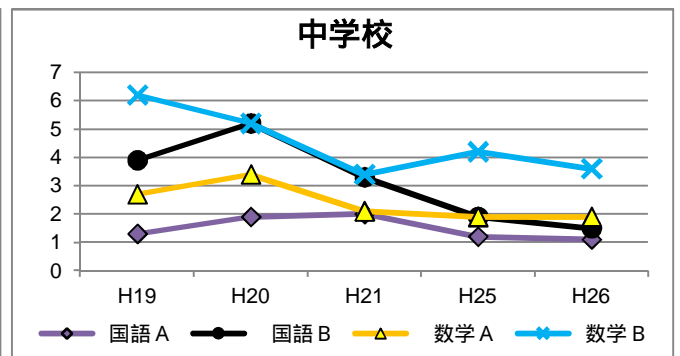
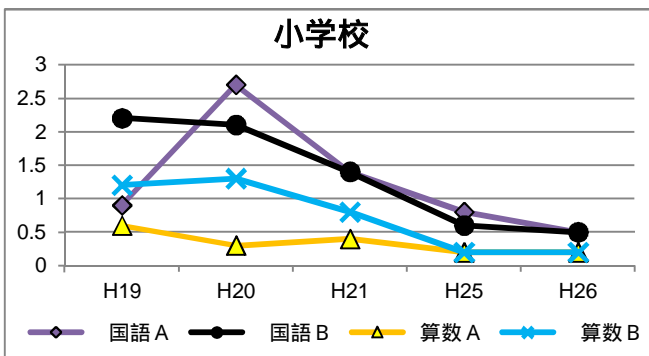


平均無解答率 全国との経年比較

		H19			H20			H21			H25			H26		
		大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差
小国	A問題	2.9	2.0	0.9	13.6	10.9	2.7	11.3	9.9	1.4	11.5	10.7	0.8	2.8	2.3	0.5
	B問題	10.9	8.7	2.2	14.4	12.3	2.1	13.5	12.1	1.4	14.2	13.6	0.6	9.7	9.2	0.5
小算	A問題	1.7	1.1	0.6	3.3	3.0	0.3	2.5	2.1	0.4	1.9	1.7	0.2	1.1	0.9	0.2
	B問題	7.1	5.9	1.2	7.3	6.0	1.3	7.0	6.2	0.8	6.5	6.3	0.2	4.5	4.3	0.2
中国	A問題	4.8	3.5	1.3	5.7	3.8	1.9	5.3	3.3	2.0	3.6	2.4	1.2	4.2	3.1	1.1
	B問題	9.1	5.2	3.9	13.9	8.7	5.2	8.9	5.6	3.3	4.7	2.8	1.9	5.0	3.5	1.5
中数	A問題	6.8	4.1	2.7	10.0	6.6	3.4	7.2	5.1	2.1	7.2	5.3	1.9	6.2	4.3	1.9
	B問題	20.6	14.4	6.2	18.6	13.4	5.2	13.1	9.7	3.4	20.9	16.7	4.2	14.5	10.9	3.6

平均無解答率 全国との差の経年比較

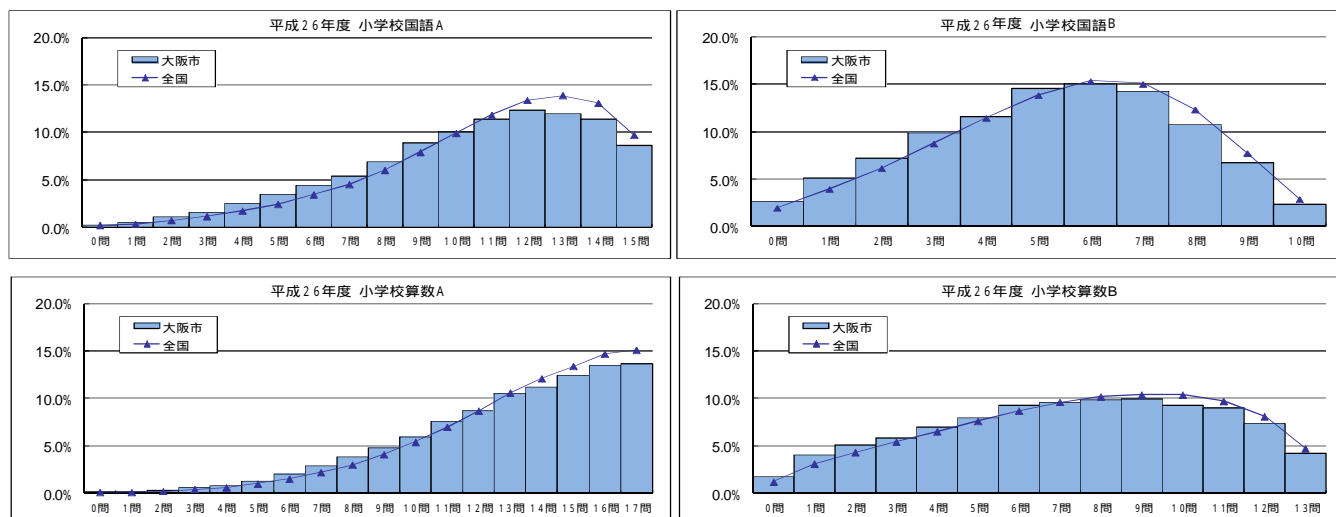
グラフは、大阪市と全国平均無解答率の差を表したものです。



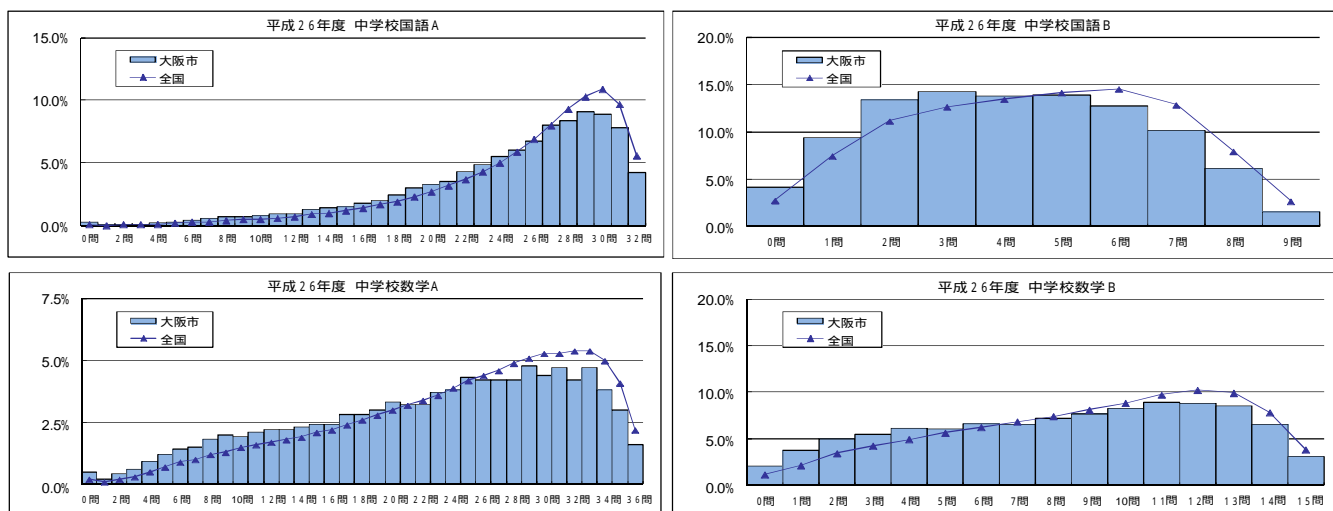
正答数分布

下のグラフは、大阪市を棒グラフ、全国を折れ線グラフで示している。大阪市のグラフは、全国とほぼ同じような形状であるが、いずれの教科においても、棒グラフの方が左に寄っていることから、大阪市は全国に比べて正答数の少ない児童生徒の割合が高いことが分かる。

小学校



中学校



大阪市の平均正答率・平均正答数・平均無解答率

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B
平均正答率	69.7	52.7	76.0	55.8
平均正答数	10.5 問/15 問	5.3 問/10 問	12.9 問/17 問	7.3 問/13 問
平均無解答率	2.8	9.7	1.1	4.5

中学校	国語A	国語B	数学A	数学B
平均正答率	75.9	46.3	62.5	55.2
平均正答数	24.3 問/32 問	4.2 問/9 問	22.5 問/36 問	8.3 問/15 問
平均無解答率	4.2	5.0	6.2	14.5